

[論 文]

# 「P. F. ドラッカー及びA. P. スローンの教訓とGMの命運」 —P. F. ドラッカーとA. P. スローンはGMに何を残し、 その教訓に学ばなかったGMがいかなる命運をたどったか—

下 川 浩 一

あとがき

本論文の簡単な概要と著作権関連のメモ

この70年にわたり世界一の大企業だったGMが、2009年6月に大倒産を経験して世間を驚かせた。この論文ではこの大倒産の原因と経過を歴史的に考慮している。

これまでこの大倒産について、アメリカでは少なくとも数冊のルポルタージュ風の著作があり、この論文にも引用しその内容を著者の見解として展開している。

この論文では、GMから大企業のあり方の多くを学んだR.F. ドラッカーとGMを世界一の大企業たらしめたA.P. スローンという2人の教訓、それを守った時代のGMとそこからの逸脱プロセスを描いている。

著者は30年にわたりGMの研究と実地調査を行って、いくつかの論文、小論文の形で発表している。日本でもGMのことに触れた著作や論稿は多いが、GMの歴史を包括的に描いたものは皆無といってよい。したがって小書は、GM倒産についての包括的なパイオニア的作品といってよい。

この論文における引用文献および小書の過去の論稿については、本論文の引用欄に明らかであり、世界の著作権のルールに従っている。そしてこの論文の原著作権は法政大学経営志林にあり、将来この3本の論文をベースに出版する場合には、そのことを明示すべきことはいうまでもありません。

以上が私の3論文と著作権についての見解です。